

第4回釜石情報交流センター運営検討委員会 開催結果

1. 日 時 平成26年5月19日（月）午後2時00分から午後3時40分まで（100分）
2. 場 所 釜石市役所第4庁舎 第7会議室
3. 出席者 次頁のとおり
4. 次 第 以下のとおり
5. 結 果 下記のとおり

<次第>

1. 開会
2. 挨拶
3. 釜石情報交流センター基本設計修正案について
4. 釜石情報交流センター事業計画案について
5. 意見交換
6. 事務連絡
7. 閉会

第4回 釜石情報交流センター運営検討委員会 委員名簿

〈委員〉

番号	氏名	所属等	備考	出欠
1	佐々木重雄	釜石商工会議所 専務理事	市民ホール検討委員	出席
2	山口里美	RCF復興支援チーム	市民ホール検討委員	出席
3	金野恭子	釜石商工会議所女性会		欠席
4	斎藤裕基	釜石東部コミュニティ振興グループ代表		出席
5	小笠原順一	釜石市大渡町商店街振興組合		出席
6	下村達志	かまいしプラットフォーム	交流センター準備委員会	出席
7	西条佳泰	LiFESTYLE Lab.代表	交流センター準備委員会	出席
8	高橋つね子	エプロンハウスHOT	共同店舗	出席
9	菊池広隆	小島製菓	共同店舗	出席
10	福土正行	市民公募		出席
11	佐々木愉子	市民公募		出席

〈事務局〉

1	氏原 茂将	
2	釜石市総務企画部広聴広報課	
3	釜石市教育委員会生涯学習文化課	
4	釜石市教育委員会図書館	
5	釜石市産業振興部観光交流課	
6	釜石市建設部都市計画課	
7	釜石市復興推進本部復興住宅整備室	
8	釜石市復興推進本部事務局	
9	釜石市復興推進本部リーディング事業推進室	

<結果>

Ｌ室佐々木主査の開会、平松室長あいさつに続き、佐々木委員長の司会のもと事務局から別紙次第協議事項について順次、説明し、意見交換を行ったもの。各委員から情報交流センター運営計画（中間報告）、基本設計修正案について了承を得た。同委員会は第４回をもって終了することとした。

各委員の発言の概要は、以下のとおり。

6. 発言の概要

- (委員長) 事務局から説明のあった運営計画の中間報告、基本設計修正案について各委員から意見を頂戴したい。
- (委員) 前回からのテナント部分に関しての修正も理解できた。2階も前回の話し合いの内容が反映されている。カフェは中身を詰める必要がある。1階の執務室が狭くなったのが気になったが、ラウンジの使い方もイメージ通りだ。
- (委員長) 情報交流センターと市民ホールの間は屋根がかかるのか？前回委員会でも屋根がかかるということで話し合いが進められてきたと思っている。
- (設計者) コスト次第だがそういったイメージ。天候に左右されない広場はそれだけで人が集まる。大型商業施設にはない空間。
- (委員) 良くできている。2階のスペースをスタッフが監視できた方がいいと感じた。ハード面ではなくソフト面だとは思うが。溜まり場にならないように配慮が必要。ビデオ等映像機器はこの程度で十分。
- (委員) 収入計画の2,400万円について、どういう考えでこういったものになっているのか？
- (事務局) テナント収入やカフェや臨時的経費を合算して収入としている。歳出はストレスをかけている。ただし詳細設計前なのであくまでも概算。
- (委員) テナント収入はテナントによって違うのか？
- (事務局) 共同店舗は小さめのテナントにしたのに対し、情報交流センターのテナントは、60坪程度の大きめのテナントを想定している。
- (委員長) どこが入るのか、決まっているのか？
- (事務局) まだ決まってない。
- (委員長) 屋根のある広場から入ってくる人の流れは？開口部はあるのか？
- (設計者) エレベーター付近の風除室が普段使われる入口となる。あとは商店街からの流れをカフェ入口で対応。天気の良い日には広場とカフェも一体と

なって使えるようになっている。通路からも入ってこられるようになっている。

(委員長) 通路は通り抜けできるのか。

(設計者) 通路を抜けて北広場にも行ける。

(委員) センターの駐車場はあるのか？商店街側に設置する予定は？

(事務局) 市営大町駐車場を利用してもらう形になる。商店街側は考えていない。現在の路側帯の駐車マスで対応。

(委員) センターの利用価値が上がると思う。商店街が再建したときに利用が広がると感じる。会議室なども商談できるとのことなので、ミーティングする場所がない等の課題に対応できる。青葉ビルが埋まってて使えない状況が多く、このスペースは利用されると感じる。

(委員長) 市営駐車場、共同店舗とSCは2階でつながっている。交流センターもペデで繋げては如何か？

(委員) 外から2階へはいけるか？

(設計者) 想定していない。中を通り2階へ上がる。センターの管理が1階の執務室中心となる。人の配置の問題もある。場合によっては執務室から2階への管理用階段があってもいいかもしれない。

(委員長) 災害時の避難路は？

(設計者) 2方向に避難できるようカフェ、広場に抜ける動線を確保している。建物全館を回遊できる動線も確保した。

(委員) テナントは吹き抜けで考えているのか？テナントの入れ替えがあった場合の対応に不安を感じる。

(設計者) テナントは2つでも対応可能。1つでもかまわない。

(委員) 1階通路は歩道のイメージか？ドアはあるのか。

(設計者) その通り。車両は入ってこない。空気としては外部だが、雨は入ってこない。ドアがなく、24時間通り抜けできるようになっている。

(委員) センターはガラス張りのイメージか？また施設のカラーイメージは？

(設計者) ミッフィーの色使いをうまく使いながらも、カラフルな遊園地にならない大人のイメージを出していきたいと考えている。

(委員) まちづくり会社の共同店舗は黒を基調としている。センターの遮光はブラインドかカーテンか？西日が心配。

(設計者) ロールスクリーンを想定している。ガラスも曲線を予定しているがコス

ト次第。多面で曲線を出せればロールカーテンで対応できる。

(事務局)

エリアの色使いで皆さん、考えはあるか？

(委員長)

委員のご意見をお伺いする。来る人はくつろぎを求めている。入りやすい色となると淡い色になるうか。

(副委員長)

白をイメージしていた。明るめで落ち着ける色がいい。

(委員)

市民ホールとつながりを持たせる色にするか、その逆でセンターとホールを差別化する色にするか。

(設計者)

ホールの中は特殊。ロビーについてはセンターや広場と連続したものを考えている。建物の色で特色を出すと飽きられてしまうので、建物自体に色を乗せるのではなく、家具やカウンター等、インターフェイスになるところに印象的な色を使いたい。ディック・ブルーナの6色若しくは4色(黄色、赤、青、緑)を使い分け、取り入れながら設計したい。

(委員)

2階は落ち着く感じがいい。開放的だと落ち着かない。

(委員)

施設内を色で分けてみては如何か。まちづくり会社の共同店舗が黒なら対照的な色がいいと思う。釜石は鉄の街、ファサードに鉄をイメージできるものがあってもいい。釜石のPRにもなる。

(委員)

以前の委員会でヨコミゾ先生が大人と子どもの空間を分けたくないと話されていたが、キッズコーナーを設置した背景は。

(設計者)

前回の会議では、「大人」と「子ども」をどう共存させるかをお話しさせていただいた。皆さんから意見を聞きながら、1つに決めないで選択できるようにした。キッズコーナーは子どもだけだが、隣接するスペースCは子供を見る親がいる空間、スペースAは目的を持った大人使いの場所、カフェは全世代、スペースBはまだ考える余地があるが、展示壁を活かして、WSや展示会等ができるアクティブな空間にしたい。カフェからスペースAにかけて利用者が選択してほしい。

(委員)

展示即売会はどこでできるか。かなりのニーズがあると思う。

(設計者)

スペースBとなるうか。広場と連動して軽トラ市とかやってもいい。広場と連動した使い方をしてもらえればいい。北広場には車両乗り入れが可能となっている。

(委員)

イオンタウン側から入ってくる感じか？

(設計者)

時間帯にもよるがそうなると思う。

(委員)

交流センターが整備されたときの北広場の状況は？

- (事務局) 市民ホールの工事にも関係してくるが、防塵・防音ネットが交流センターの前にあると思う。
- (委員) 広場は坂になるのか？
- (事務局) 基本は平面となる。
- (副委員長) 授乳室はどのような感じになるのか。男性が入られないのか？
- (設計者) 大きなソファが3つ並んでいて、子供と一緒に座れるイメージ。
- (副委員長) 入口までは男性も入られて、奥は女性だけとか使い分けできるようにして頂きたい。またSCには授乳室内に身長計や体重計がある。そういったニーズはある。また授乳室内にミッフィーを使えるのか。
- (設計者) ディックブルーナー・ジャパンやオランダ大使館との打ち合わせでは、許可は必要なものの建物への使用は原則了解を得ている。
- (委員) テナントは決まっているのか？決まっていなくてあればいつまでに決めるのか。物販か飲食か？
- (事務局) 基本設計完了までには業態を固めたい。オオバコを入りたいがまだ確定していない。集客力があるものでセンターのコンセプトに合致したもので選定したいと考えている。コンビニが入れる広さ。
- (委員長) FP1、FP3、鈴子地区でのイベントの開催についての資料がある。釜石祭りの開催場所等、観光交流課のお考えは如何か。
- (観光交流課) 釜石祭りは鈴子地区での開催を予定している。
- (委員長) 深夜バス停留所のご意見があった。場所はどこになるのか。
- (事務局) 市民ホールと情報交流センターの間で釜石港線添いになる。バスセンターとは言わないが屋根があるところが利用者にとってもいい。
- (委員) 深夜バスは大町にも停まるが、人がいないと素通り。釜石駅前には人がいなくても10分は停車するので、大町で10分停まるようチェンジして欲しい。
- (観光交流課) JRホテルとの調整も必要となる。
- (委員長) 商業者の話し合いの中で釜石港線の歩道が未改修で歩くのもままならないとの意見があった。センターの整備等に合わせて改修できないものか。
- (事務局) 釜石港線は県道だが、恐らく市が施工する。建物工事との兼ね合いもあり、歩道の整備は最後になると思う。
- (委員長) 5月22日の市議会復興特別委員会はこの内容で説明するのか。
- (事務局) 情報交流センターと市民ホールの役割、両施設の動線など、すべてを説

明させて頂く予定。

(事務局) 運営計画や自主事業についてご意見はあるか。

(委員) 市内のイベント情報等を開催後に知ることが多いと感じていた。情報が上手くキャッチできてない。行政だけでなく、民間の動きも集約して広く効率的に情報発信したい。それが産業や観光につながると思う。

(委員長) ポータルサイトがそういったニーズに対応できるのか。

(委員) そうなると考えている。

(事務局) ポータルサイトを育てながら市内の商店のチラシ等も掲載できるように、サイトの媒体価値を上げて行って進めて行きたい。

(委員長) メリットがあれば商工会議所の会員も使いやすくなると思う。

(委員) ポータルサイトは情報発信だけでなく、受ける方の内容も取り入れてほしい。施設の利用申込みとか、一般の利用者も参加できるようなものがない。ライブラリーの図書が 1,000 冊となっているが貸出や返却など参加型のものにしてもらいたい。

(委員) 施設が利用されていけば、コンシェルジュが必要となってくる。指定管理者を想定しているまちづくり会社だけでは対応できるかが不安。観光案内をとっても釜石駅から観光協会があるシープラザに人は流れていない。工夫が必要と感じた。情報交流センターがワンストップの窓口となるような機能が必要と感じた。

(図書館長) 収支計画でパート 2 名あるが、まちづくり会社の職員もふくまれているのか？

(事務局) 含んでいない。アルバイト 2 名で想定している。

(事務局) 通路について、壁面に何かわくわくするような仕掛けが必要。壁面の利用も検討してもらいたい。